

大学・高専機能強化支援事業  
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2大学】  
事業概要

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F145110111523
大学名	宮崎大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	宮崎県
申請形態	研究科等の設置・増員(一般枠)		

1. 事業概要

新たに先端情報コースを設置し、専門分野の高度化と異分野融合による多様なカリキュラムを維持しつつ、豊かで質の高い暮らしと持続可能な社会を実現するため社会実装を視野に入れた、情報通信分野及び融合情報分野の高度専門技術者を育成する。新コースの目安定員は60名に大幅増員するとともに、工学研究科工学専攻の全体の入学定員を10名純増して144名とする。先端情報コースでは教員組織も強化し、社会実装をテーマとしたコース必修科目の新設やインターンシップの高度化など、情報・デジタル技術を用いた様々な分野の社会実装に繋がるカリキュラムを編成することとしている。また、AI開発や学生のアイデアが実現できるプロトタイプ開発の最新設備を整え、教育環境の強化を図る。宮崎大学工学部・工学研究科の特色としては、産学金官で構成される宮崎県デジタル人材育成コンソーシアムと連携して宮崎県内に先端IT人材を定着させ、地方創生を主導させる。

2.基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前	15	36	51	258
	増員後	15	120	135	258
	増分	0	84	84	0
大学の全組織の収容定員	増員前	140	454	594	
	増員後	140	474	614	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員前	10.7%	7.9%	8.6%	
	増員後	10.7%	25.3%	22.0%	
	増分	0.0%	17.4%	13.4%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程	組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系			
	計	0	0	
	情報系以外			
修士	計	0	0	
	情報系			
	工学専攻機械・情報系コース（情報）	18	36	R 6 廃止
	計	18	36	
	情報系以外			
	工学専攻環境系コース	43	86	R 6 廃止
	工学専攻エネルギー系コース	36	72	R 6 廃止
工学専攻機械・情報系コース（機械）	19	38	R 6 廃止	
工学専攻機械・情報系コース（ロボ）	18	36	R 6 廃止	
計	116	232		
学士	情報系			
	計	0	0	
	情報系以外			
計	0	0		

※情報系組織の改組・増員に関わる組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程	組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系				
	計	0	0		
	改組前との差	0	0		
	情報系以外				
	計	0	0		
修士	改組前との差	0	0		
	情報系				
	工学専攻先端情報コース	60	120	R 6 設置	宮崎県宮崎市
	計	60	120		
	改組前との差	42	84		
	工学専攻環境コース	31	62	R 6 設置	宮崎県宮崎市
	工学系専攻電気・半導体コース	31	62	R 6 設置	宮崎県宮崎市
工学専攻機械コース	22	44	R 6 設置	宮崎県宮崎市	
計	84	168			
改組前との差	-32	-64			
学士	情報系				
	計	0	0		
	改組前との差	0	0		
	情報系以外				
	計	0	0		
改組前との差	0	0			

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なものを6つまで）					
博士							
修士	工学専攻	工学関係					
学士							



<基本情報>

改組内容：研究科等の設置・増員  
 情報系組織名：<修士>工学研究科工学専攻先端情報コース  
 情報系組織の入学定員：<修士>【R6増員】改組前18名 → 改組後60名  
 所在地：宮崎県宮崎市

宮崎県デジタル人財育成  
 コンソーシアム

- ・デジタル人財育成
- ・地元定着→地元DX推進
- ・教育支援



宮崎大学大学院工学研究科改編 (R6年度) による強化の特徴

産学官金  
 連携

【学生確保の見通し】 高い進学率を維持

志願倍率：138% (平成30年度～令和5年度)  
 入学者平均：146.3名 (入学定員134名)  
 ※情報・デジタル分野への進学は入学定員の53%

入口

工学専攻の入学定員10名増  
 (定員134名→144名)

※定員10名増分は、学内定員を振り替えずに純増

情報・DXを高度化した「先端情報コース」の新設(目安定員60名)

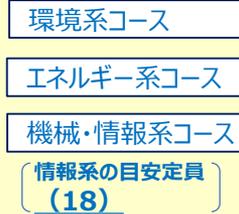
教育方針

専門分野の高度化と異分野融合による多様なカリキュラムを維持しつつ、豊かで質の高い暮らしと持続可能な社会を実現するため社会実装を視野に入れた、情報通信分野及び融合情報分野の高度専門技術者の育成

成果

多くの高度情報・デジタル専門人材を輩出  
 ●先端IT人材不足問題解決 ●社会が求めているDX推進

<現在>



<令和6年度> ※ ( ) は現状の目安定員の想定規模



・今後、学部のDS・DX強化、融合教育強化により、情報・DX分野への興味を持つ学部生がますます増えると予想

高度情報・専門人材：42名増

社会実装を視野に  
 情報・DX高度化

「先端情報コース」教育内容の特徴：カリキュラム，教育研究環境整備，実務家教員の配置

- 先端情報コースに、履修モデル「情報通信」モデルと「融合情報」モデルを設置
- 「融合情報」モデルの科目群は、企業または他大学との連携による講義内容を加える
- 従来の29名の教員に加え、新たに実務家教員を含む教授・准教授3名と助教6名で教育

実務家教員による社会実装を視野に入れた教育

- コース必修科目「社会ニーズに応じた先端情報特論(仮)」を設置
- 企業等との連携による実践的教育
- 「インターンシップ」の高度化

研究教育環境

- 異分野領域対応AI開発設備、創造力養成設備

<必修> (16単位)

コース必修科目 (2単位)  
 「社会ニーズに応じた  
 先端情報特論(仮)」  
 (実務家教員による)

専攻共通科目 (14単位)

<選択> (14単位以上)

情報通信モデル  
 融合情報モデル

最低4単位  
 以上

他の履修モデルの科目  
 専攻共通科目 (インターンシップ含む)

出口

【人材ニーズと計画】

「令和4年度宮崎県内IT企業アンケート」  
 宮崎大学から毎年37～41名の  
 情報・IT分野人材必要

過去3年間平均18.3名  
 IT人材輩出不足

先端IT人材を輩出し  
 IT人材不足を改善